

芸術(工芸Ⅲ)学習指導案

大阪府立〇〇高等学校
〇〇 〇〇

1. 日時 平成27年〇月〇日(〇) 6限目 (14:20 ~ 15:10)
2. 場所 美術工芸教室
3. 学年 第3学年 選択者
4. 教科・科目 工芸Ⅲ
5. 講座構成 18名
6. 題材名 『あかりのデザイン』(ランプシェードを作ろう)
7. 題材設定の理由
- 今までの課題を通じ、生活の中にある道具を自分の表現として応用し、制作する力を育む。
 - 生活の中にあるあかり(照明器具)をつくることで、作り手の思いやりや重要性を認識する。
 - あかりのある空間と人との関係について考える。
 - 日が落ちるのが早い季節に、生徒の作品を展示することで校内を明るく活気づける。
8. 題材の目標
- ランプシェードをつくることに関心を持ち、あかりのある空間と人との関係を考え、創意工夫した作品を制作する。
 - あかりのある空間と人との関係を意識しながら、自分なりに創意工夫したあかりの形を考える。
 - 針金や和紙等の素材の性質やはんだなどの道具の使用法を理解し、意図に応じてそれらの効果を生かし、計画に基づいて工夫しながら制作をする。
 - 他の生徒の作品から表現の工夫を感じ取り、工芸の働きについて理解を深める。
9. 計画 総時間数 8時間 (鑑賞・発表1時間)
10. 準備 生徒: 鉛筆、消しゴム
- 教員: 資料、下書き用紙、油性ペン、マスキングテープ、作業台(ペニヤ板)、軍手
ペンチ、ガムテープ、しんちゅうの針金、クリップ、フックス、板金用はんだ
はんだごて、和紙、ボンド、グラデーションライト、電池
11. 評価の観点
- 『工芸への関心・意欲・態度』
- あかりの効果を考えながら、課題に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。
 - あかりのある空間を意識することで、あかりの役割について考えている。
- 『発想や構想の能力』
- 生活の中にあるあかりの役割を意識しながら、自分なりの機能美を追及している。
 - あかりのある空間と人との関係を意識しながら、構想を練っている。
- 『創造的な技能』
- 針金や和紙などの素材の性質やはんだ等の道具の使用法を理解し、意図に応じてそれらの効果を生かし、計画に基づいて工夫しながら制作できる。
- 『鑑賞の能力』
- 作品を鑑賞し、他者の作品の良さや工夫、自分の反省点に気付くことができる。
 - あかりの役割を理解するとともに、工芸作品における作り手の思いやりを感じ取ることができる。

12.2学期の指導計画

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中にある道具を、自分なりにイメージし、表現できる能力を育てる。 基本的な知識や技能を習得し、計画性を持って制作する力を育てる。 生活の中にある道具の役割を理解し、作り手の思いやりを感じ取ることのできる感性を育てる。 		
到達目標に 向けての取組 《留意点》	<ul style="list-style-type: none"> 様々な作品を鑑賞しイメージを膨らませ、アイデアスケッチをしっかりと行う。 試作品を制作し、道具や材料の特性を理解してから、本番に取り掛かる機会を与える。 展示発表や意見交換することで、観者の反応をリアルタイムで感じ取る機会を与える。 		
月	題材	学習のねらい	評価のポイント
9月	《 シルバーリング 》 ロストワックス法での シルバーリングの制作	ロストワックスの技法を理解し、手先を使った細かい作業の能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 課題に興味を持ち、身近な道具をデザインする喜びを感じている。 道具の役割を意識しながらデザインを考え、工夫し、構想を練っている。 道具の使い方、素材の性質、技法を理解し、計画的に制作できる。 他者の作品の良さや工夫、道具の役割が理解できる。
10月	《 あかりのデザイン 》 針金と和紙を使用した ランプシェードの制作	あかり(照明器具)を制作することで、人が集まる場所での道具の役割と、空意識を高める。	
11月	《 卒業制作 》 食堂のメニュー表の制作	観者の目を意識し、見易く役立つデザインを実現する。	

* 11月の《 卒業制作 》は3学期も引き続き制作します。

13. 本課題の学習計画(全8時間)

月日	時間	○学習のねらい ◇学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
9/28 (40m×2h)	1	○ランプシェードの作品を鑑賞し、あかりの役割を読み解く。 ○針金や和紙の素材を理解し、はんだの使用法を習得する。 ◇基本的な技術を理解するため、見本の『花形シェード』を試作する。	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージが広がるような、多様な作品の資料を用意する。 ・道具の危険性に重点を置いて作業の説明をする。 ・作業が苦手な生徒には個別で技術指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○試作を制作することで、課題に興味を持ち、あかりの効果を考えながら、意欲的に取り組んでいる。【制作の様子】 ■針金や和紙等の材料を適切に扱い、はんだの使用法を理解し、計画的に制作できる。【試作作品】
	2	3 ○針金や和紙の素材の性質を理解し、はんだの使用法を習得する。 ◇前回の授業の続きをする。 ○あかりのある空間と人との関係を意識しながら、創意工夫した効果的なあかりの演出を考える。 ◇試作制作の経験を活かし、ランプシェードのデザインを、アイデアスケッチをもとに考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・どの方向から見ても美しいデザインになるよう指導する。 ・デザインと機能性について考えよう指導する。 ・苦手な生徒には個別で技術指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○試作を制作することで、課題に興味を持ち、あかりの効果を考えながら、意欲的に取り組んでいる。【制作の様子】 ■針金や和紙等の材料を適切に扱い、はんだの使用法を理解し、計画的に制作できる。【試作作品】
10/6 (本時)	3	4 ○あかりの効果を考えながら、自分なりに創意工夫した形を創造する。 ○針金や和紙の素材を理解し、はんだの使用法を習得する。 ◇本作品の制作に入る。		<ul style="list-style-type: none"> ○自分のイメージを立体的に表現できるよう、試行錯誤している。【制作の様子】 ▲あかりのある空間と人との関係を意識しながら、自分なりに創意工夫したデザインを考えている。【アイデアスケッチ】
	4			
10/26	5	○あかりの効果を考えながら、自分なりに創意工夫した形を創造する。 ○針金や和紙の素材を理解し、はんだの使用法を習得する。 ◇本作品の制作に入る。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業が苦手な生徒には個別で技術指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に興味を持ち、あかりの効果を考えながら意欲的に取り組んでいる。【制作の様子】 ■針金や和紙等の材料を適切に扱い、はんだの使用法を理解し、計画的に制作できる。【制作途中の作品】
	6			
11/2 (45m×2h)	7	○あかりの効果を考えながら、自分なりに創意工夫した形を創造する。 ○針金や和紙の素材を理解し、はんだの使用法を習得する。 ○作品の意図や工夫を感じ取り、生活の中にあるあかりの役割を理解する。 ◇本作品の制作の続きをする。 ◇展示し、意見交換を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業が苦手な生徒には個別で技術指導をする。 ・作品の良さが充分感じられるよう照明を消して、鑑賞する時間をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に興味を持ち、あかりの効果を考えながら意欲的に取り組んでいる。【制作の様子】 ■針金や和紙等の材料を適切に扱い、はんだの使用法を理解し、計画的に制作できる。【完成作品】
	8			☆鑑賞レポートにより、自分や他者の作品の良さを感じ取り、自分なりの意見を持っている。【鑑賞レポート】

14. 本時の学習指導計画

時間	学習活動	指導上の留意点	評価標準・評価方法
導入 10分	・出席点呼 ・材料の配布 ・前回の振り返りと説明	・前回の資料をもう一度見せながら、イメージが広がるよう指導する。	
展開 40分	・前回の試作『花形シェード』の制作の続きをする。 ・骨組みが出来上がっている生徒は、和紙を張り、試作を完成させる。	・行き詰っている生徒には様々な視点から質問を投げかけ、個別に指導する。 ・はんだで火傷等しないように、手元を細かくチェックし、机間指導を行う。 ・教室内のコードや机の上の道具の安全管理を指導する。	◎試作を制作することで、課題に興味を持ち、あかりの効果を考えながら、意欲的に取り組んでいる。 【制作の様子】 ■針金や和紙等の材料を適切に扱い、はんだの使用法を理解し、計画的に制作できる。【試作作品】
10分	休憩		
展開 40分	・試作を制作することで理解した、道具や材料の特性を考えながら、自分なりに工夫したオリジナリティのあるデザインをスケッチをする。 ・アイデアスケッチをもとに、実寸大の下絵を描く。	・安全管理のため、こまめに声かけをし、頻繁に机間指導を行うようにする。 ・作業が苦手な生徒は個別で技術指導する。 ・行き詰っている生徒には、様々な視点から質問を投げかけ、全体の構図や形のバランスなど、どの方向から見ても美しくなるよう、個別に指導する。	◎試作を制作することで、課題に興味を持ち、あかりの効果を考えながら、意欲的に取り組んでいる。 【制作の様子】 ◎自分のイメージを立体的に表現できるよう、試行錯誤している。 【制作の様子】 ▲課題を理解し、試作制作の経験を活かしながら、あかりのある空間と人との関係を意識し、自分なりに創意工夫したデザインを考えている。 【制作の様子、アイデアスケッチ】
片付け 10分	・作品は丁寧に扱い保管する。 ・道具類を所定の場所にきれいに直す。	・協力して片付けるよう指示する。	

◎工芸への関心・意欲・態度 ▲発想や構想の能力 ■創造的な技能 ☆鑑賞の能力

15. 本題材の評価及び総括

《 本題材の評価 》

観点	工芸への 関心・意欲・態度		発想や構想の能力		創造的な技能		鑑賞の能力		本題材 総合点 計
名前	観察法による評価	点数 計	アイデアスケッチと下絵による評価 ① 30点	点数 計	試作品と本作品による評価		点数 計	感想用紙からの評価 ① 10点	点数 計
	① 30点				① 20点	② 20点			

《 本題材の評価の総括 》

観点	工芸への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	総計
A	27~30	18~20	①10・9 ②27~30	9, 10	92~100
a	24~26	16・17	①8 ②24~26	8	88~80
B	21~23	14, 15	①7 ②21~23	7	76~70
b	18~20	12, 13	①6 ②18~20	6	66~60
C	15~17	11, 10	①5 ②15~17	5	56~50
D	12~14	8, 9	①4 ②12~14	3~4	38~40
E	~11	~5	~11	~2	~26